



笑顔の輪



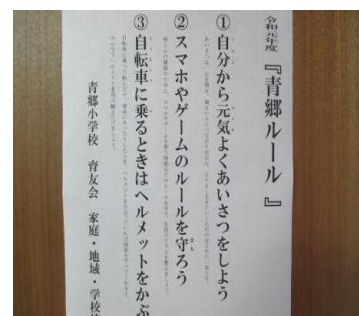
スマホやゲームのルールを守る冬休みに

12月に入り、青葉山の上の方が白くなったのに気づいた子供たちから歓声が上がりました。冬の到来です。保護者の皆様や我々教員としては、まず先に雪による登下校の大変さや、インフルエンザへの対応などを気にしますが、子供たちにとっては、冬休み、クリスマス、大晦日、お正月といった楽しいイベントがやってくるというわくわく感が高まっているのではないのでしょうか。

まもなく冬休みが始まります。子供たちには、休み中、青郷ルール②の「スマホやゲームのルールを守ろう」を意識して生活して欲しいと思います。スマホは、子供たちにとって、今後必要なものになってくるでしょうし、ゲームも今やスポーツとして国体やオリンピックでの採用も試行されるような時代になってきました。

このような環境の中、子供たちには、発達段階に応じて正しい使い方や管理ができる力を養うことが必要だと感じます。学校では、いろいろな機会を利用して、健康面や生徒指導面からの話をしています。子供たちにとって年末年始は、お年玉で新しいゲームソフトを買ったり、家族団らんの中、夜遅くまで起きていたりするなどいつもとは生活リズムも違い、使用時間の管理も難しいとは思いますが、メリハリをつけてルールを守って欲しいと思います。ルールはスマホやゲームを健全で安心して使うようにするためにあります。嫌々ながらルールを守るととらえるのではなく、自分の生活をより楽しくするために守ろうととらえてくれるとうれしいです。

第3学期始業式は、1月8日（水）です。全員が充実した冬休みを過ごし、いきいきキラキラした表情で学校に来てくれることを楽しみにしています。



12月4日から10日は人権週間でした。

人権について考える機会の一つとして、全校で人権作文に取り組み、5日（木）に、低・中・高学年別に分かれて人権作文発表会を行いました。発表会では、学級の友達の気持ちを考えた作文や、自分自身の心の葛藤を書いた作文、よりよい仲間になるためにはどうすることが大切なのかを考えた作文などを代表の児童が朗読しました。その後みんなで感想を発表したり意見交換を行ったりして人権（命を大切にすること・みんなと仲良くすること）について深く考えることができました。

子供たちが、今後、この発表会で学んだことを仲間と生活していく中で活かしたり、行動したりできるように支援や助言をしながら、すべての子供たちの人権が尊重される学校づくりを目指します。



学習発表会を開催しました。

11月26日（火）に、各教科や総合的な学習の時間などに学習したことの成果を発表する学習発表会を開催しました。学習したことを発表用資料にまとめ、役割分担を決めて発表原稿を作成して、何回も発表の練習を重ね本番を迎えました。

当日の発表の中で、5年生から自分たちの生活をよりよくするという目的で、体育館で使うボールの置き場を考えて、ボールを使いやすくするという発表がありました。その後、発表の内容の具体化を目指して話し合いを重ね、現在は体育館入り口のボールラックに置くようになり、全校児童がとても使いやすくなりました。各教科等で学習したことが日常の場面で生きて働く学びが求められている今日において、確かな手応えを感じることができました。

